

2023年12月13日 トーゴ大使館 グローバル様講演会

12月13日、1年生の総合的な探究の時間にグローバル講演会が実施されました。今回はトーゴ共和国在日大使館からジュルス・カンコエ・アデュアヨム様に来校していただき、ご講演いただきました。

まず54ヶ国で構成されるアフリカについてお話いただきました。一口にアフリカといっても、地域によってさまざまな顔があり、多様であることを強調されていました。トーゴ共和国のある西アフリカは周辺のガーナやナイジェリアにわたって同じ部族が居住する簿族社会であること。英国やフランスの植民地支配によってその部族が国によって分断されていることをお話いただきました。その後はトーゴ共和国の気候、自然、教育、スポーツ、食文化等の説明がありました。教育では義務教育ではないので、小学校から留年があること、経済的問題で通学できない子どもが多いことに生徒たちは驚いていました。そして、ジュルス様は日本の教育制度のすばらしさを強調し、生徒たちにそれを誇りにもつようにお話くださりました。後半では多くトーゴ共和国での写真を投影して、トーゴの現状を説明くださいました。中には日本から送られたランドセルを使う児童の写真もありました。日本からの援助に大変感謝していました。

最後にトーゴ共和国のパイナップルやマンゴのおいしさを強調し、生徒の中から10年以内にアフリカに来る人がいるから、いろいろと、学んで欲しいと強調されていました。普段は触れる機会のない国の方に接して、生徒たちも講演を楽しみつつ大いに刺激を受けたようでした。

● アフリカについての説明



● トーゴの街の風景



●日本から送られたランドセルの説明



★生徒の感想の一部

・普段聞けない話が沢山聞けて面白かった。

自分たちが使っていたものが遠くの国でも役立っていると知って嬉しかった

・初めて聞く国名だったけれど、今回の公演でトーゴをよく知ることができたのでとても良かった

・ジュルスさんの話がとても面白かったです！トーゴの習慣が日本と結構違っていたので聞いて面白かった。

・日本とは全く関係のない国だと思っていたが、日本の製品が使われていたり共通点があったりすることが分かり、遠い国でも繋がりがあることがわかった。

・隣り合ってる国と、どこの植民地だったかが違うことを知って驚きました。食文化などに、興味がわきました。

・この学年で一人は必ずアフリカに行くと言っているの、僕もいけたらいいなと思います。

・日本の教育は世界基準と比べてとても優れていてまたその周りの環境も恵まれていることを知ってもっと頑張りたいと思った

・トーゴの、左手で物を渡してはいけないことや、生物を食べてはいけないというルールを聞いて、世界の文化や宗教の違いを強く感じました。トーゴのパイナップルぜひ食べてみたいです。

お話にあったように、日本の教育を受けることができていることに誇りを持って、これからも過ごしていきたいと思いました。